



琵琶湖森林づくり県民税の 活用状況について

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

琵琶湖森林づくり事業



▶ 環境を重視した森林づくり

- ① 陽光が差し込む適切な森林整備
 - ・ 環境林整備事業、二ホンジカ捕獲など
- ② 次世代の森の創生
- ③ 森林資源の循環利用と二酸化炭素の固定
 - ・ 間伐材の利用や機械化の促進など
- ④ 森林の防災機能の強化
 - ・ 災害に強い森林づくり事業



▶ 県民協働による森林づくり

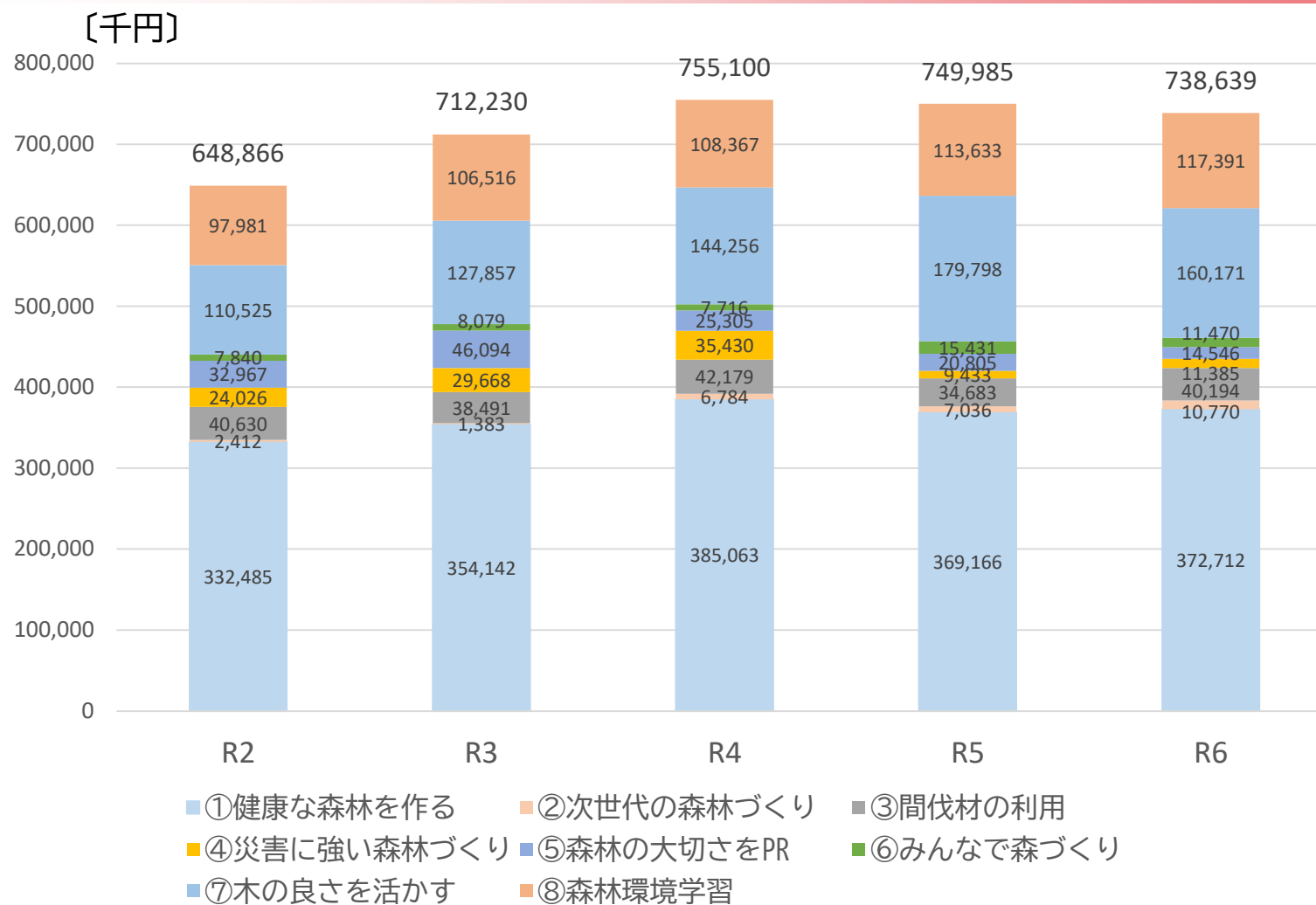
- ⑤ 森林づくりへの理解や参加の促進
- ⑥ 多様な主体による森づくり活動への支援
 - ・ 「やまの健康」（農山村の活性化）など
- ⑦ 木のぬくもりや良さの体感
 - ・ 「びわ湖材」の利用促進、「木育」の推進など
- ⑧ 森林環境学習や次代の人材育成
 - ・ 「やまのこ」や「しが自然保育」の推進など



県民税の事業費の推移



Mother Lake
Goals



(各年度の事業費は、前年度からの繰越を含む。)



Mother Lake
Goals

活用事例

≫ 琵琶湖森林づくり事業



Mother Lake
Goals

①陽光が差し込む適切な森林整備



強度に間伐を行い、針葉樹と広葉樹が混交する多面的機能の高い森林「環境林」へ誘導する

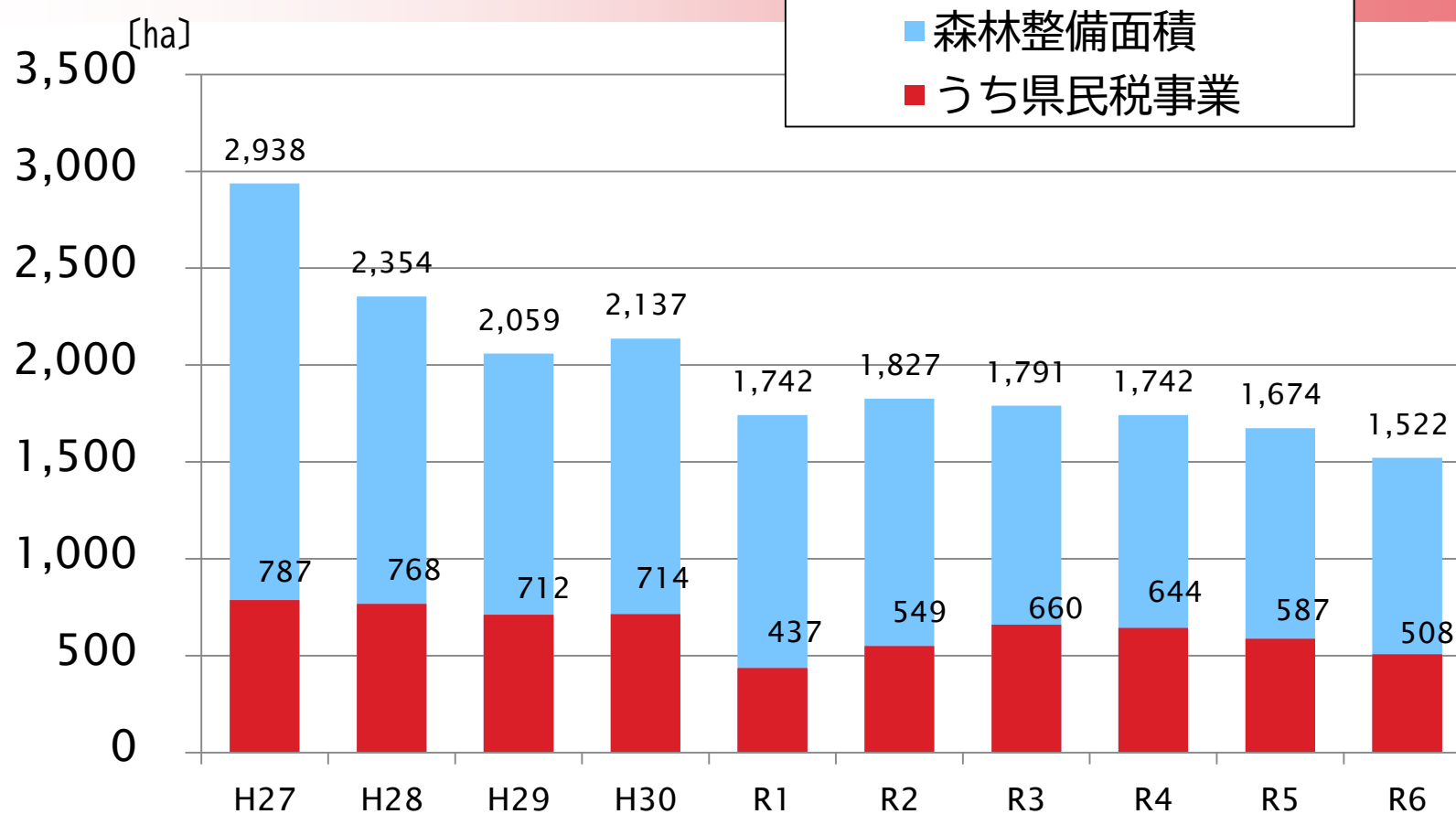


植栽木や下層植生に影響を与えるニホンジカの捕獲

森林整備面積



Mother Lake
Goals

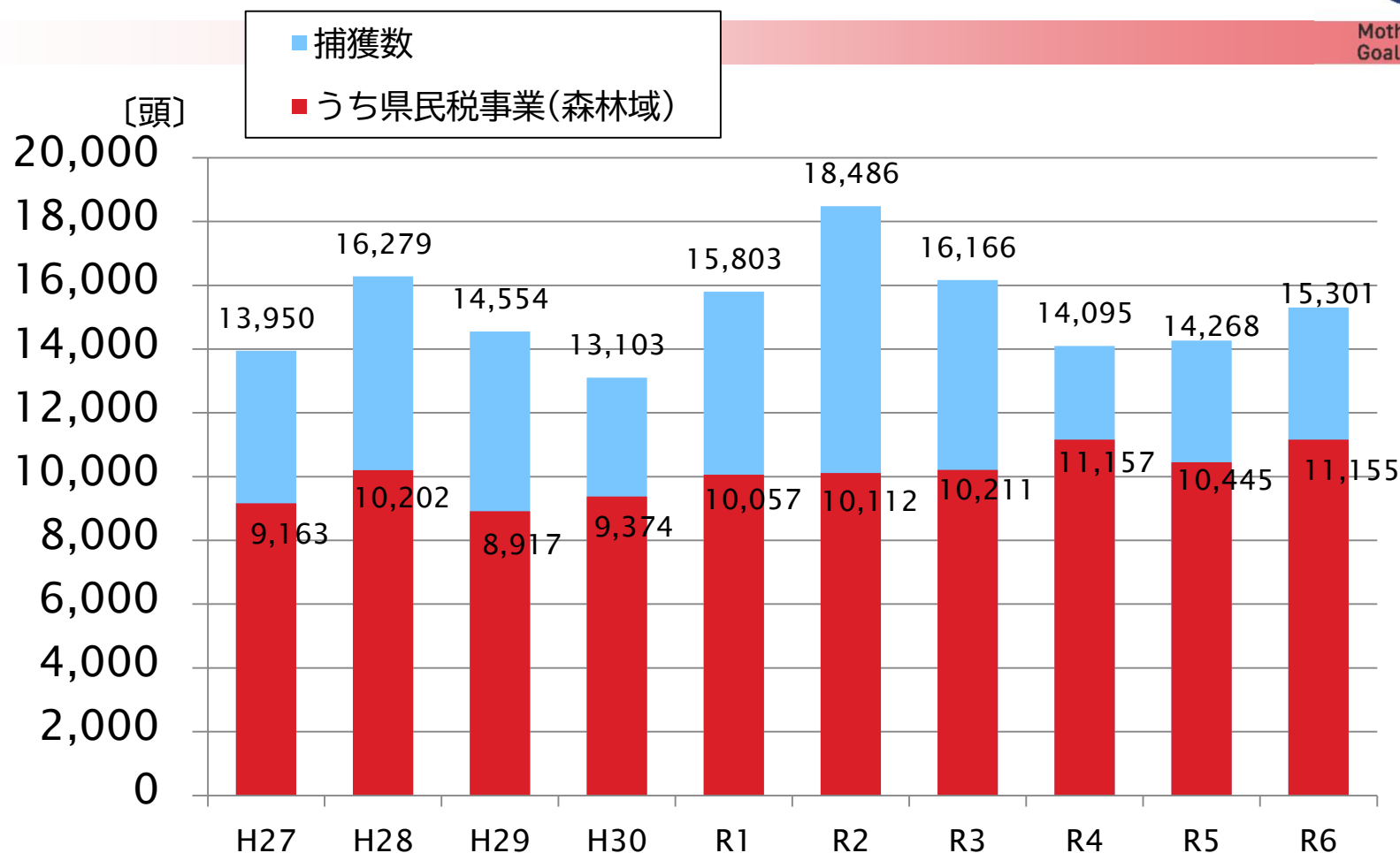


- ▶ 森林整備のうち、環境重視の視点に立った、環境林整備等について県民税事業により整備。

ニホンジカの捕獲頭数



Mother Lake
Goals



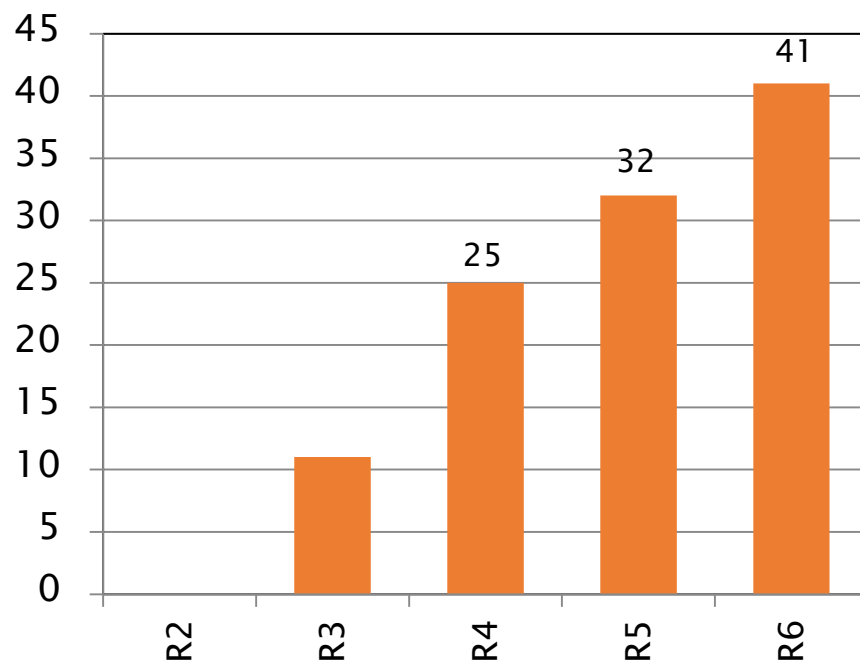
- ・ 森林域での捕獲に対し県民税事業で助成
- ・ 下層植生衰退の改善に寄与



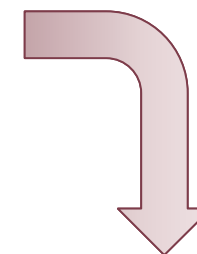
Mother Lake
Goals

④森林の防災機能の強化

箇所 ライフライン保全整備箇所数（累計）



整備前



整備後

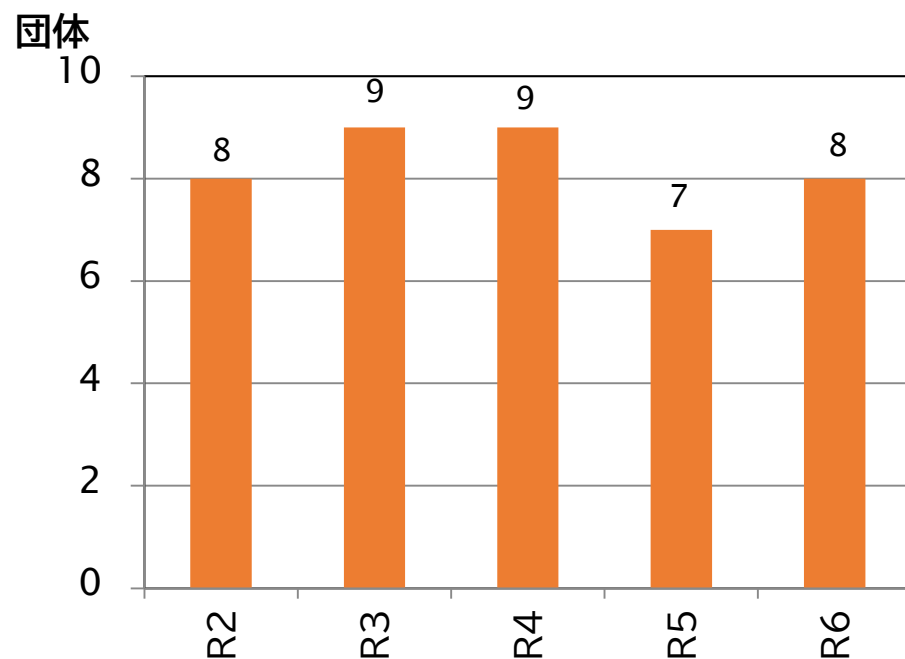
- 広域的な視点により、重要インフラ周辺の森林の予防伐採について県民税事業により支援

⑥多様な主体による森づくり活動への支援



Mother Lake
Coop

●森の恵み活用促進事業



スギ・ヒノキのアロマオイル
(森林資源活用)



森林ヨガ体験
(森林空間活用)



未利用材の地域内循環
(木炭の生産)



未利用材の地域内循環
(薪の販売)

- ・ 地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について、県民税事業によりスタートアップの3年間について支援
- ・ 商品化し販売するなど取組が継続しており、農山村の活性化(やまの健康)に繋がっている。



Mother Lake
Goals

⑦木のぬくもりや良さの体感

- ▶ 木製品の導入
 - 木製備品の購入支援
- ▶ あらゆる用途への木材利用
 - 公共施設、住宅や民間施設などへの県産材利用拡大支援
- ▶ その他
 - びわ湖材利用の研究開発



教育施設での活用



一般住宅での活用

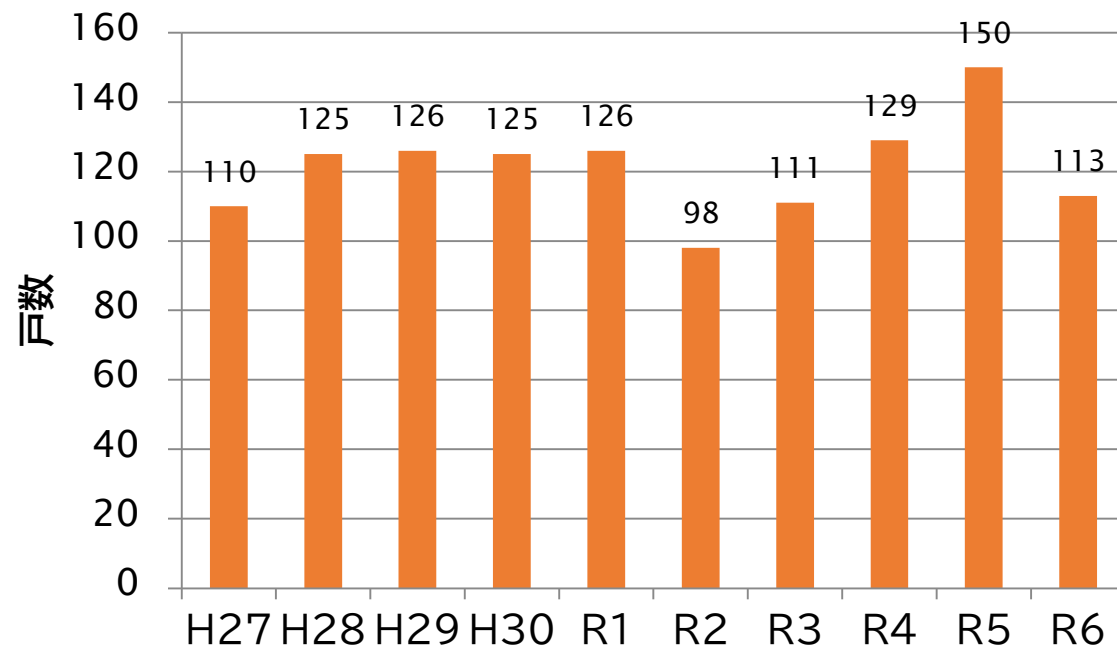


公共施設での活用



Mother Lake
Goals

びわ湖材を使用した住宅の助成戸数



びわ湖材を使用した住宅

- ・木に触れる機会を提供するため、びわ湖材を使用した一戸建て住宅等の新築等を森林県民税事業で支援



Mother Lake
Goals

⑦木のぬくもりや良さの体感

○「しが木育」

木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

- ・木育イベント開催等木育の場の確保
- ・保育所等へ木育製品の貸し出し
- ・木の魅力を伝える木育指導者の育成

つながる「しが木育」指針



木育イベント



木育製品の貸し出し



R5.4策定

木育拠点施設整備推進事業、**新**木育拠点施設管理運営事業

県立近江富士花緑公園の既存施設を改修して県の木育拠点施設とする



『つなぐ「しが木育」指針』を策定（令和5年4月）

「しが木育」…子どもから大人まであらゆる世代が、木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

目指す姿

- 県民の健康で快適な暮らし
- 「やまの健康」・「健康しが」の実現
- 木づかい文化や森川里湖のつながりの継承

木とふれあうことは木育の入り口であり大事な機会であるが、県内には誰もがいつでも木にふれ親しむことのできる施設が少ないのが現状

豊かな自然環境を活かした滋賀らしい木育拠点施設を整備

- ・木育製品の展示体験を通して、木や森林に親しみ学ぶ拠点（ハード）
- ・木育指導者を育成するとともに、県内各地に「しが木育」を発信する拠点（ソフト）

①森林のわくわく学習館 S48,平屋建,507㎡

→「しがモック」に改修

【R6・7年度】工事、備品購入

役割：木育（乳児/幼児～）/展示コーナー/事務室/倉庫



メインスペース イメージ



エントランス イメージ



展示スペース イメージ

②林業普及センター S47,2階建,986㎡

→1階一部(192㎡)を「多目的室」に改修

【R7年度】工事

役割：多目的室（木育WS、木育講座、等）
倉庫（貸出用木育製品保管、他）



イメージ

③ウッドイルーム S62,平屋建,160㎡

→改修 【R7年度】工事

役割：木工室（小学生～大人 木工体験等）



スケジュール	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
しがモック（旧：森林のわくわく学習館）	検討WS、詳細設計	改修工事	改修工事、運営委託 オープン	
林業普及センター（多目的利用） ウッドイルーム（木工室）		詳細設計	改修工事	運用開始
駐車場			測量、設計、工事	供用開始

⑧次代を担う子どもたちへの森林環境学習

○自然を活用した幼児教育・保育を行う団体を認定する

「しが自然保育認定制度」

・・・認定団体数 13団体(R6年度末)

○県内全ての小学4年生を対象とした森林環境学習

「やまのこ」・・・実施学校数 234校(R6、実施率100%)



自然保育実施状況



やまのこ実施状況